

読賣新聞

2013年(平成25年)

12月1日 曜日

〒104-8243 東京都中央区銀座6-17-1 電話(03)3242-1111(代) www.yomiuri.co.jp

編集手帳

△コーヒーをつぎ、たばこに火をつけたら、あとは僕のすべてを忘れてくれ。ハードボイルドの巨匠レイモンド・チャンドラーの探偵小説『長いお別れ』(原題・THE LONG GOODBYE)の一節である◆タイトルだけでも人を魅了してやまない。離れた歲月が長いだけのことは別れとは呼ばないのだろう。かつてグループサウンズの頂点に立ったザ・タイガースが実に44年ぶりに再結成する◆3日の日本武道館を皮切りに全国ツアーに向かう。この復活劇が実現するまでの最

大の懸案は、ピーことドラムの瞳みのるさんが絶縁状態にあったことだという◆解散後、瞳さんは大学に進んで高校教師になった。「僕のすべてを忘れてくれ」。きらびやかな舞台を降りた人が市井で穏やかな生活を送るには、硬い卵の殻に身を包む必要があったのだろう◆だがある日、歌声を耳にする。へこんな長い別れになるなんて／あの時は思わなかった／23才の時だったね…。『ロング・グッバイ』(作詞・岸部一徳、沢田研二。作曲・森本太郎)。久しぶりに愛称で呼んでみますか？サリー、ジュリー、タローと。

2013.12.1